

古民家の住みながらリフォームの好事例。薪ストーブ設置など施主の夢をかなえるだけでなく、組子など建具パーツをリスペクト活用し、和洋折衷型に昇華させたデザインは見事。外国人に貸す住宅ではないが、そうしたいと思うほど日本家屋の魅力が詰まった作品。

リフォーム前後の写真

BEFORE



開口部は全て木製で隙間風が寒く、玄関や、土間の台所など、段差が多かった。

AFTER



玄関からホールへの段差が660mmもあったため、お母様の出入りを楽にするため、階段と連続性のある手すりを設置。



最初はリビングに置くことも考えた薪ストーブ。ご主人の営む林業を手伝いにくるボランティアの方が集う場所として、玄関に入ってくるすぐのホールに設置することに。天井の古梁ともマッチする和洋折衷の懐かしい雰囲気。空気が流れるように設計されているので、冬も薪ストーブだけで暖かい。



▲縦格子の引き戸で緩やかに仕切ったリビングとダイニング。北側の廊下をなくし、広い窓を設けたことで、裏庭の山の景色も眺められる。



◀付書院の繊細な障子をそのまま残した。

▲奥座敷はフローリングに変えて、主寝室に。床の間は半分だけ残し。左側の壁を抜いて古い障子を入れた。障子の向こうはウォークインクロゼットに。

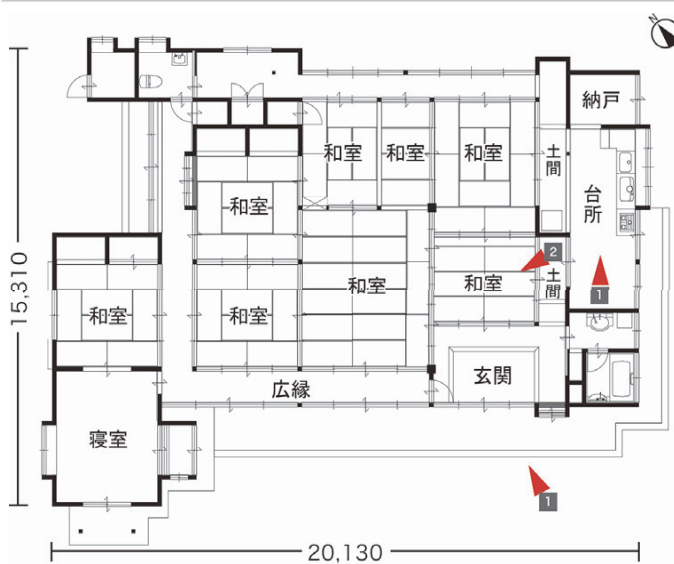
リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／住宅の価値を向上させた内容など

(リフォームの動機)	や扉、欄間も既存のものを使用。・住みながらの工事だったため、施工区画と仮設の水まわりを設け、仮設計画をしっかりとした。
・開口部は全て木製で、冬は隙間風等でとても寒かった。・90歳のお母様やご自身の将来のために、段差を解消してバリアフリーにしたい。・次男一家の同居が決まり、傷んだところをただ直すのではなく、築120年の面影を残したかった。・生活動線を便利にしたかった。	(住宅の価値を向上させた内容)・耐震補強で、耐震性能を向上させた。・複層サッシや断熱材の充填により断熱性能を向上。LED照明を採用し、省エネ性能を向上させた。・玄関ホールへのアプローチや室内のバリアフリー化で、安全性を向上させた。
(設計・施工の工夫点)	(施主の感想)木にこだわった暮らしやすい住まいに生まれかわり、家全体が生き返ったよう。断熱性が格段にアップした。薪ストーブを焚くと家中が暖くなる。暗かった部屋が明るくなり、風通しも良く、景色を楽しめるようになった。昔の大工や建具屋の良い仕事を残し、既存の梁や建具を活かすことができ、本当に良かった。

性能向上の特性	特に配慮した事項
耐震性能、耐久性能、バリアフリー性能、温熱性能、防音・遮音性能、省エネ	①耐力壁新設、金物補強、梁補強、柱頭柱脚補強などで接合部の強化し、耐震性能を向上させた。②防蟻・防水加工、設備機器の交換により、耐久性能を向上させた。③施工範囲においては、廊下・開口部拡張、床の段差を解消、手すりの取り付けを行った。玄関からホールへの段差を解消するための階段と連続性のある手すりを設置。④複層サッシ、インナーサッシ、樹脂サッシを採用。玄関ドアを断熱仕様。床・壁・天井に、断熱材を充填。⑤複層ガラスを採用。⑥LEDの採用

データ	
所在地	茨城県常陸太田市
該当工事面積	180.56㎡ / 総工事床面積 180.56㎡
居住者構成	15歳以上64歳未満：2人、65歳以上：1人、15歳未満：0人、ペット：
築後年数	120年
施工期間	150日間
該当部分工事費	3,000万円 / 総工事費 3,000万円

リフォーム前



リフォーム部位：■居室 / ■台所 / ■浴室 / ■便所 / ■洗面所 / ■廊下 / □階段 / ■玄関 / ■エクステリア / □マシヨン共用部分

リフォーム後

